

2020年5月3日

COVID-19に関して 自己免疫性水疱症 患者さん向け情報

感染予防策の徹底

- ◎不要不急の外出を避けましょう
- ◎石鹸を用いた手洗いやアルコールによる手指消毒をしましょう
特に、帰宅後にはすぐに手洗いを
- ◎マスクを着用しましょう
- ◎外出する際は、顔を触らないよう気を付けましょう
- ◎3つの「密」を避けましょう
換気の悪い密閉空間、大勢がいる密集場所、間近で会話する密接場所
- ◎ソーシャルディスタンスを意識しましょう（2メートル離れる）
- ◎屋内では換気しましょう

治療に関する重要なポイント

COVID-19に関連する症状がない場合：

- 水疱症の治療を中断しないでください。ステロイド/免疫抑制剤を自己判断で止めないでください。
- 電話での診察、処方箋発行も可能であるため、来院が困難な患者さんは皮膚科担当医にご相談ください。

COVID-19に関連する症状（発熱、咳、呼吸困難、嗅覚味覚障害）が発生した場合：

- 非ステロイド性抗炎症薬（アセトアミノフェン以外）を服用しないでください。
- COVID-19に関しては、各都道府県の帰国者・接触者相談センターにご相談ください。
- 免疫抑制剤の一時的な中止やステロイド投与量の調整を行うことがありますので、皮膚科担当医にもご連絡ください。

以下の場合、COVID-19感染に対して、より警戒を強める必要があります。

- 過去1年未満のリツキサン®投与
- 過去6ヶ月以内の免疫抑制剤内服（例：アザチオプリン（アザニン®、イムラン®）、シクロスポリン（ネオーラル®）、シクロホスファミド（エンドキサン®）など）
- 過去3ヶ月以内の長期の経口ステロイド内服（プレドニン®）